



デンマーク高齢者ケア 現地視察研修 募集要項

世界で最先端の社会福祉システムと
その背景にある思想を学ぶ

2013年3月17日(日)～3月24日(日)

<6泊8日>

～2009 年末で特養ホームからケア付住宅等に
移行した、デンマークの新しい高齢者の
住まい・生き方・老い方を学ぶ～

特定非営利活動法人福祉フォーラム・ジャパン

特養ホームを全廃したデンマーク どこに住み、どこでケアを受け、どこで看取るか

はじめに

デンマークのネストヴェズ・コムーネ（市）は、コペンハーゲンから列車で1時間余り、人口8万人のシェラン島で最大の自治体です。この国は、歴史的にも職業教育が充実しており、高齢者ケア研修にも歴史と工夫があります。ネストヴェズ市では、1992年から国内はもとより諸外国に向けた先進的な行政施策の研修を企画しています。ネストヴェズ市は、長きにわたる福祉施策とその実現の歴史を他の地域の人々に伝達し共に考えることも市の役割のひとつとしてこの研修を企画しています。



▲ネストヴェズ市内の街並み

日本においてもこの10数年前から、高齢者ケアを知るため多くの人がデンマークを訪れています。しかし、この研修プログラムは、より実践的な内容を盛り込み、高齢者とも触れ合い、日頃、集合教育の困難なケア現場のスタッフ教育に置き換えることができる実際的な内容です。

福祉行政担当者に有益な短期集中コース

1987年のデンマーク国高齢者住宅法により、1988年からのプライエム（特別養護老人ホーム）新規建設を中止し、その後約20年かけ2009年6月でネストヴェズ市は、いち早く特養をなくしました。この経緯の中で、様々な住宅の形態・運営方法・スタッフの業務内容などの改革を行い、より効率的で、なおかつ質の高いケアを目指し、進んできました。



▲市議会場での講義

今回のプログラムは、6泊8日（研修4日間）の

短期滞在型で、ネストヴェズ市の全面企画協力による、デンマークの最新の福祉施策と実情の集中研修となります。



▲訪問先の高齢者住宅の居室

デンマークは、なぜ従来の特養型施設を廃止し、それに代わってどのようなサービスを作り、高齢者の住宅とケアの変革を図っているのか、また介護職の教育・研修はどのようになっているか、そして福祉と医療との連携はどのようなのか、そして福祉用具の活用を学べます。

●デンマーク福祉の最近のトピックス●

昨今のデンマークの行政改革と医療・福祉対策

- デンマークは、大規模な行政組織の再編成を行い、2007年1月に従来の14のアムト（県）と275のコムーネ（Kommune、市）を廃止して、5つのレジオン（region）と、98のコムーネに統合した。これは、財政的に安定した自治体が求められ、自治体職員は専門的な役割と活動の遂行を求められているためであった。
- 病院から退院後高齢者施設に移る必要がある人には「待機期間2ヶ月以内」（退院後2ヶ月以内に住居を用意しなければならない）の新ルールができ、急性期医療の入院短縮で医療費の抑制策がとられている。

特養を全廃したデンマークのその後

- ネストヴェズ市では、プライエムと呼ばれる日本の特別養護老人ホームに相当する高齢者施設は、2009年6月に全廃、すべてがプライエボーリといわれる新しいタイプのケア付住宅に転換された。廃止を決めてから20年を要した。この転換はアナーセン・コペンハーゲン大学教授を中心とする改革諮問委員会が1982年に答申を受けて行われ、
 - ① 継続性の原則（在宅生活の条件整備）
 - ② 自己決定の原則
 - ③ 自己資源の活用・開発の原則（残存能力の活用）を骨子とし、24時間在宅ケアへの道筋を示した。
- 1997年にできた、社会サービス法により、施設という概念を廃止、自宅および自宅に近い環境で暮らすための各種サービスを受ける権利が確立していった。

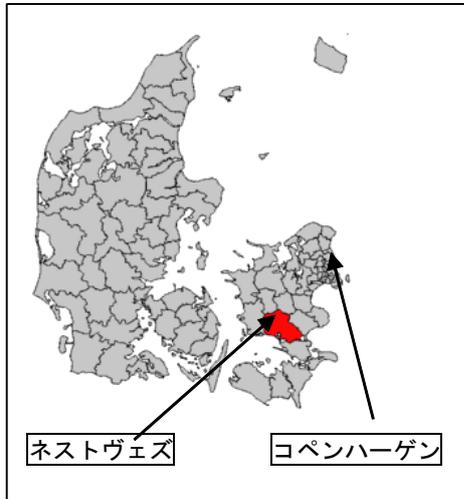
高齢者のケアスタッフの制度は？ 福祉用具等は？

- デンマークのケアスタッフは、「社会保健ヘルパー」と「社会保健アシスタント」の2種類あり、前者は約14ヶ月、後者はさらに約20ヶ月の教育・訓練が義務付けられている。ケアスタッフは教育・訓練中の給与は保証される。
- 病院から自宅に戻る場合は、住宅改修、補助器具（福祉用具）、ホームヘルパー派遣などで支え、その体制はしっかりできている。
- コムーネには補助器具センターがあり、必要な器具はほとんどの品目について、必要な期間中、速やかに無償で貸し出され、自立的な生活を確保するための重要な手段・方法とされている。



▲移乗には必ずリフトが使われている

●訪問地ネストヴェズ市の紹介●



位置：北緯 55 度 14 分、東経 11 度 46 分
首都コペンハーゲンより、電車で約 1 時間
(首都コペンハーゲンは、北緯 55 度 43 分、
東経 12 度 34 分／日本の最北端は、北緯 45
度 31 分)

面積：681k m² (シェラン島最大の自治体)
(デンマーク全体で約 4.3 万 k m²=九州とほぼ同じ)

市の歴史：1135 年、ベネディクト会の聖職者たちがサ
ンクト・ペールス教会を建て、サンクト・
ペールス修道院を設立するために土地を確
保したことが、ネストヴェズの町の起源と
なった。



サンクト・ペールス教会

人口：約 8 万人。自治体職員数は 8,500 人で、その
92%は教育・福祉・保育・消防など市民サービス分野を担当する。

高齢化率：約 16%

～ ネストヴェズ市から歓迎のメッセージ ～

ネストヴェズ市は特に子どものためのデイケアや学校、高齢者のためのサービス事業などに多くの予算を投入しています。そして、市民に適切で、良質なサービスを提供することに力を入れております。なおかつ財政は安定しており、経済も発展しています。市が長年、実践・開発してきた高齢者ケアの専門職の教育プログラムは世界的に有名であり、研修参加者を多く受け入れています。多くの方々がこの視察研修に参加されることを、市の関係機関・施設等は、心より歓迎いたします。

● 旅 程 表 ●

	月日	都市	時刻	内容	食事
1	3/17 (日)	成田発 コペンハーゲン着 コペンハーゲン発 ネストヴェズ着	午前 夕刻	空路、コペンハーゲンへ ネストヴェズへ移動	機 機
2	18 (月)	ネストヴェズ	終日	研修プログラム 研修内容についてはP5をご参照ください。	朝 昼 夕
3	19 (火)	ネストヴェズ	終日		朝 昼
4	20 (水)	ネストヴェズ	終日		朝 昼
5	21 (木)	ネストヴェズ	終日		朝 昼
6	22 (金)	ネストヴェズ発 コペンハーゲン着	午前	コペンハーゲンへ移動 市内視察	朝
7	23 (土)	コペンハーゲン発	午後	空路成田へ	朝 機
8	24 (日)	成田着	午前	到着後、解散	機

注1) 上記日程は、航空会社及び現地事情等により予告なく変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

注2) 利用航空機、成田集合、帰着時刻等につきましては、ご出発の10日から1週間前までに、あらためまして旅程表をお送りいたしますのでご参照ください。

注3) 食事等、参加費に含まれるものにつきましては、P7の〈募集要項〉をご参照ください。

● 研 修 内 容 ●

■市の施策・財務

市の高齢者施策の概要と基本理念、高齢者が選択できる住宅の種類とその特徴および在宅ケアサービス等について学びます。

■配食システム

オンブズマン制度を徹底して行う中でも利用者からの厳しい指摘を受けて工夫改善する配食サービスシステムの講義と、衛生的かつ合理的な調理現場の見学と、試食として昼食も用意していただきます。

■ケアスタッフ養成

ケアスタッフの養成については、教育学・哲学・心理学を基礎に、介護については、現場を重視したカリキュラムで、根拠に基づく介護を行うために講義と実習を織り交ぜた教育の特色を学べます。

■補助器具の提供

実際に利用されている方の訪問をすることから、用具の活用のポイント、また、その多くの用具の合理的な管理提供システムを学べます。

■携帯型コンピューターによるケアシステム

訪問介護にも、ICT（情報コミュニケーション技術）が導入されており、各自が訪問先で実際に用いる方法など、具体的な説明を受けます。

■サービス利用者同行訪問

デンマークも人件費の削減は深刻な課題です。訪問介護スタッフと高齢者が住む住宅に出かけ、実際の介護の現場を見聞し、言葉はわからなくとも、利用者との「こころ」の交流が伝わり、介護のあり方を深く学ぶことができる貴重な研修です。

■認知症の地域ケア

最新の認知症専用住宅の環境とケアの工夫等の講義と、利用者との過ごすことや、介護スタッフとの情報交換で、『認知症ケア』の先進国であるデンマークのケアを学びます。

■デンマークにおける高齢者の急性期医療とホームドクターの連携を中心に

デンマークも財政政策から病院の統廃合が進められています。今回は、急性期医療からホームドクター制度を敷く在宅医療への移行の方法を中心に、高齢者に対する医療の流れと、中でも、認知症ケアの工夫も盛り込む予定です。

○主な見学先○

中央厨房センター
介護福祉士養成校
補助器具センター
高齢者センター
アクティビティセンター
在宅訪問介護に同行



▲補助器具センター内で説明を受ける



▲1日30軒近くの訪問を可能にしている携帯端末



▲アクティビティセンターで利用者さんが作成された作品

●参加者の声●

・ほとんどの利用者が自己実現や生きがいの為に通っていた。日本では入浴や充実した食事が利用目的だが、それはあまり重要視されておらず、至れり尽くせりといった感じでもない。あくまで利用者自身が主人公であり職員はそのサポート役であるということが感じられた。

(特別養護老人ホーム・施設長)

・デンマークと日本のそれぞれの良い点、課題点を知る事が出来て、とても充実した時間を過ごす事ができて感謝しています。今後も機会があれば是非、数年後のデンマークの様子を学んでみたいと思いました。

(ケアマネジャー)

・講義、見学、同行訪問などバラエティに富み、全日程を通して充実した研修でした。高齢者施策を含めたケアシステム全般を網羅しており、なかでも、高齢者施設での夕食やヘルパー同行訪問など体験プログラムを通して、高齢者の生活を肌で感じる事ができたことが一番の収穫です。

(特別養護老人ホーム・施設長)



▲薬の仕分けをするヘルパーさん



▲ケアサービスを利用される高齢者宅へ。介護スタッフとともに同行訪問し、24時間のホームケアの実際を見学。



▲夕食後、食器の片付けをする入居者。進んで自分から洗いものをされており、順番や強制ではありません。研修では、高齢者住宅にて入居者と夕食をともにしてコミュニケーションをとれる機会があります。



▲参加者と対話される市長（当時）。きさくな人柄に参加者も感激。

● 募 集 要 項 ●

- ◆ 研修期間 : 2013年3月17日(日)~3月24日(日) <6泊8日>
- ◆ 研修内容 : 高齢者を対象とした福祉システムとサービス提供の実際を学ぶ。
詳細は別紙(P5)をご参照ください。
- ◆ 修了証書 : プログラム終了後には市長名による研修修了証書を授与します。
- ◆ 旅程表 : 別紙(P4)をご参照ください。
- ◆ 講師 : 市の専門家・サービス提供現場を管理・統括している責任者等。
- ◆ 通訳 : 講義等はデンマーク語で行われ、日本人通訳が通訳します(一部通訳なしの授業もあります)。
- ◆ 研修参加費 : おひとり様 390,000円
+ 燃油特別付加運賃・空港税等約 50,000円
(成田発着の往復航空運賃 [エコノミークラス]、宿泊費(2名一室)、研修プログラム費用及びプログラム内の交通費、研修資料代、下記に明記された食事代を含みます。)

※参加費に含まれる食費: 朝食6回/昼食4回/夕食1回/機内食
※飛行機は、ビジネスクラスもご利用いただけます(要追加料金)。

- ◆ 宿泊先 :
 - 3/17~22 ネストヴェズ市内のユースホステル「Danhostel」
 - ・ユースホステルですので、簡素なつくりとなっています。
 - ・寝巻き、歯ブラシ、石鹸、バスタオル、ドライヤー等は用意されていませんので、ご持参いただく必要があります。
 - ・ベッドは二段ベッドが2台備え付けられています。
 - ・各部屋に、トイレ、シャワーがついていますが、浴槽のないシャワーブースになります。(シャワーブースについて: デンマークのホテルには、浴槽がついていないのが通常です)

○3/22~23 コペンハーゲン中央駅近くのホテル「SCANDIC COPENHAGEN」

※「Danhostel」と「SCANDIC COPENHAGEN」を1名一室利用の場合、追加料金 24,000円
※「Danhostel」「SCANDIC COPENHAGEN」にて、お一人または奇数人数でご参加の場合、1部屋をお一人様でご利用いただく場合がございます。

◆ 料金一覧 *別途、燃油特別付加運賃・空港税等がかかります。

- | | |
|--|----------|
| a) 研修のみ(「Danhostel」「SCANDIC COPENHAGEN」ともにツイン) | 390,000円 |
| b) 研修+「Danhostel」「SCANDIC COPENHAGEN」ともにシングル | 414,000円 |

- ◆ 申込方法 : 申し込み金 (50,000 円) を下記にご送金後、申込書をお送りください。
(FAX、メール等でも結構です)
また、参加費の残額は3月8日(金)までにご送金ください。
<振込先> リソナ銀行 新都心営業部
普通 / 3 2 2 0 0 2 6
(口座名) 福祉フォーラム・ジャパン

◆ 申込締切 : 2013年1月31日(木)

◆ 最小催行人員 : 15名

◆ お客様からの参加契約の取消し

お客様が参加契約を取り消された場合は、下記の取消料をいただきます。

取消しのお申し出が、2/7 ~ 2/13	研修参加費の30%
2/14 ~ 3/1	" 50%
3/2 ~ 3/8	" 70%
3/9 ~ 3/16	" 100%

※事前研修

* 研修日時 : 2013年2月16日(土) 13:00-16:00 (予定)

* 会場 : NPO 福祉フォーラム・ジャパン事務所 (NPO 日本アビリティーズ協会内)
(東京都渋谷区代々木4-30-3 新宿ミッドウエストビル)

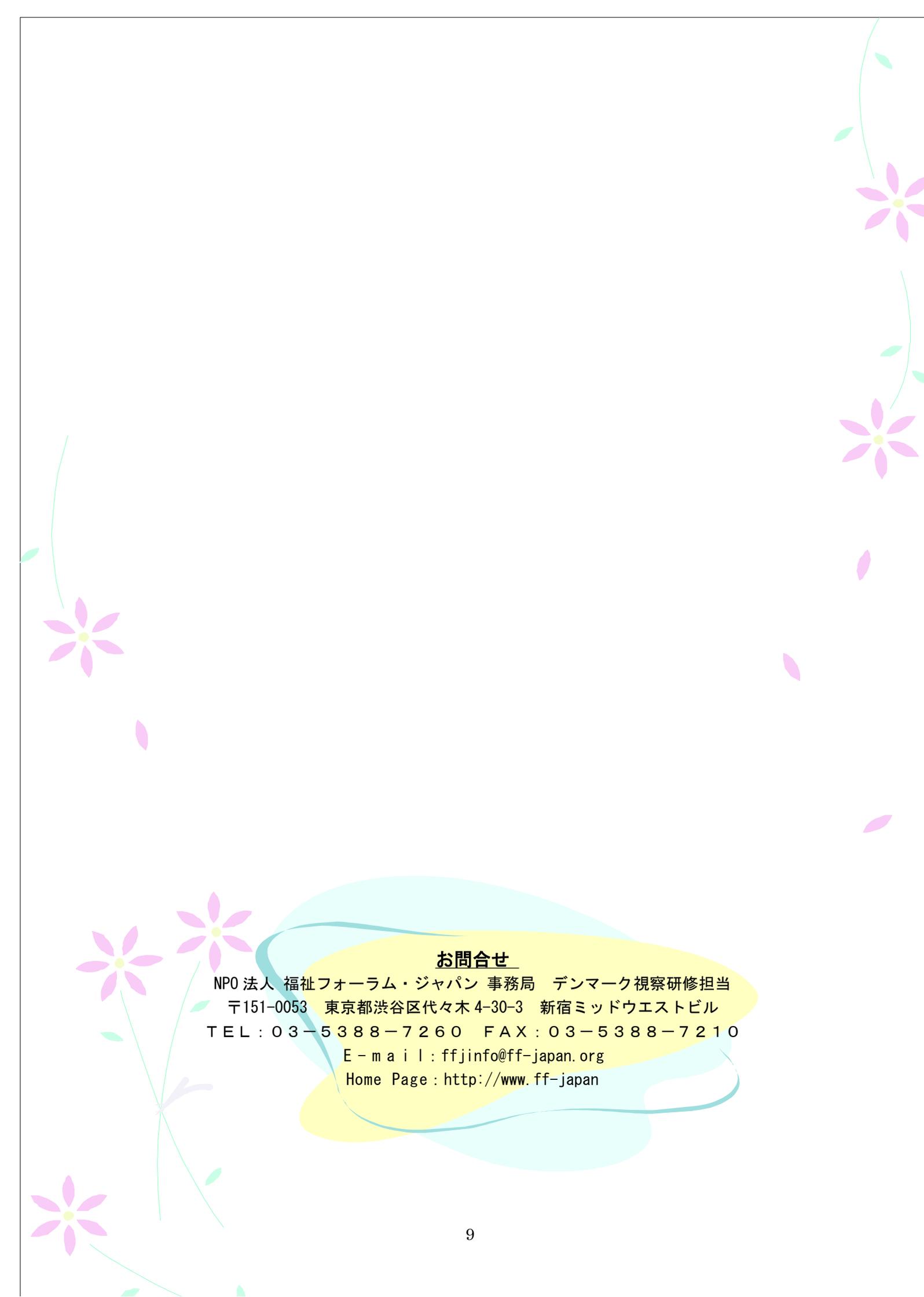
* 研修内容 : 事前に理解すべき事項の確認、参加者同士の交流

- ・デンマークに関する基礎知識 (基礎的な語学の知識を含む)
- ・ネストヴェズ市の概要説明
- ・研修内容・旅行に関する説明
- ・その他、質疑応答

* その他 : 詳細については、参加者に別途ご連絡します。

※報告書の作成

研修終了後、ご参加の皆さまに分担して原稿をお書きいただき、1冊の報告書を作成します。
帰国後に原稿作成をお願いすることになりますので、あらかじめご了承ください。



お問合せ

NPO 法人 福祉フォーラム・ジャパン 事務局 デンマーク視察研修担当
〒151-0053 東京都渋谷区代々木 4-30-3 新宿ミッドウエストビル
TEL : 03-5388-7260 FAX : 03-5388-7210
E-mail : ffjinfo@ff-japan.org
Home Page : <http://www.ff-japan>